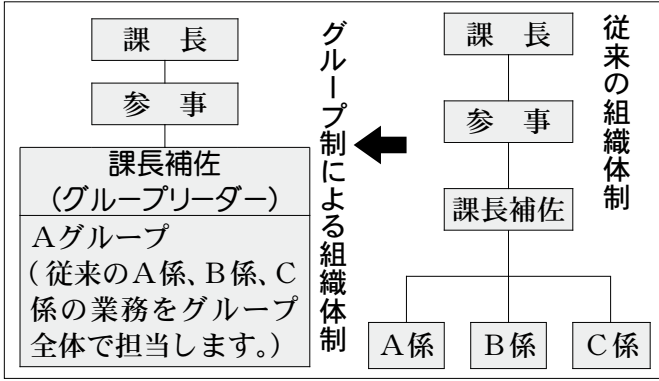


平成21年1月1日から 役場の組織・機構の一部にグループ制を 試験導入します

町では、今後の地方分権の推進等による社会情勢の変化に対応した効率的な組織を目指すため、1月1日より一部の組織において試験的にグループ制を導入することとなりました。

グループ制の導入による 組織体制の変更

係制が廃止となり、関連した業務を統合した「グループ」



を編成することにより、職員間の相互の情報共有や仕事の繁閑の差を調整することができます。

グループ制を試験的に 導入する課（対象3課）

試験的にグループ制度を導入する

総務課	4係→2グループ
総務係	
防災係	
庁舎車両管理係	
地方分権係	
総務課	総務・防災グループ
	庁舎車両管理グループ

教育委員会	
①学校教育課	2係→1グループ
②生涯学習課	1係→1グループ
学校教育課	総務係
	学校教育係
生涯学習課	社会教育係
学校教育課	学校教育グループ
生涯学習課	社会教育グループ

入する課は、町長部局では総務課、教育委員会部局では学校教育課と生涯学習課になります。

今後の町の組織・機構について

町では、今回のグループ制の試験的な導入による効果を検証し、将来の組織・機構改革に活かしていきたいと考えています。

今回のグループ制の試験的な導入による組織名の変更につきまして

は、町民の皆様に影響を及ぼすような業務上の変更は予定しておりませんが、すでに印刷を終えた納入通知書や各種様式などの一部で旧組織名が混在することも予想され、町民の皆様にも混乱やご不便をおかけする場合も想定されますが、ご理解とご協力をお願いします。

グループ制に関するお問い合わせは総務課総務係（1月1日以降総務課総務・防災グループ）までご連絡ください。



昨今メタボリック症候群が注目され、今年度から特定健診がはじまりました。このためがん検診の影が薄くなっているとの報道があります。

町のがん検診受診者数に目立った減少はありませんが、特定健診との違いに関する問い合わせが多く寄せられています。今月号から、なぜがん検診は必要なのか、がん検診を受けられた方のお話などを5回に分けてお伝えしていきます。

『受けててよかった！がん検診』①

△日本人の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡している▽

これは誇張ではなく、「参議院・厚生労働委員会調査室の3月2日付け資料」(H19)に明記されている文章です。さらに、「(2015年には)3人に2人ががんに罹り、2人に1人ががんで死亡する」といわれている。とも書かれています。「こんなに高い確率だなんて!!」と衝撃を受けませんか？しかし、実際身近な人ががんになった話を聞くこともあるのではないのでしょうか。2015年に増加するといわれるのは、高齢化が進むとがんになる確率も死亡率も高くなるためなので、実際は年齢構成を調整した値になるとがんになる率は横ばいで死亡率はさがると思われる。が、それにしても高い率だと思いませんか？

そのため、国はがん対策基本法による取り組みを行い、町でも、がんを早期発見し、適切な治療を行うことであるによる死亡を減少させ、あなたが自分らしく生き生きと生活することを目的にがん検診を行っています。また、あなたを大切に思っている人が悲しまないためにも、がん検診の受診をお勧めしています。

町が実施しているがん検診は6種類(表1)で、年齢や一部性別に要件はありますが、すべての町民が受けることができます。

自己負担は検診料金の約2割で設定しているので安価で受けることができます(表1)。